

平成27年6月25日発行
 発行/宇佐市議会
 直通:0978-32-2328
 Fax:0978-32-1437

宇佐市議会



議員いち押しの写真

門前町四日市には、東西本願寺別院の大伽藍^{がらん}が隣接して建てられています。地元では当たり前風景も、他の地域では見られないものです。かつては九州御坊と呼ばれ、広く九州中からお参りの方が集まりました。毎年12月の「お取越し」では写真の東別院山門（大分県指定有形文化財）のライトアップを始め、街中が子どもたちの作った灯明で彩られます。今秋には全国門前町サミットが開催され、全国からお客様がお見えになります。10年に1度の宇佐神宮での勅使祭とも併せて、宇佐のおもてなしをPRする機会にしたいものですね。

3月定例会

○平成27年度一般会計・特別会計当初予算を可決

5月臨時会

○正副議長、各委員会委員が決定

議会ホームページ

<http://www.city.usa.oita.jp/site/gikai/>

宇佐市議会 検索 

《目次》

正副議長あいさつ	P.2
議会運営委員・常任委員・一部事務組合議会議員の紹介	P.2～3
3月定例会・5月臨時会の審議結果	P.4～5
3月定例会の一般質問	P.6～11
常任委員会構成の見直し、議会活性化特別委員の紹介ほか	P.12



5月臨時会～新正副議長が決まる～

議長に中島孝行氏 副議長に衛藤正明氏

今回の選挙から定数を2人削減して、新たな24人の議員による議会が発足し、5月11日、選挙後初の議会を開催しました。

本会議では、最初に年長の佐田則昭議員が臨時議長として会議を進行して議長選挙が行われ、議長に中島孝行氏、次に、中島議長の進行で副議長選挙が行われ、副議長に衛藤正明氏の就任が決定しました。

また、議会運営委員会や各常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）等の委員構成が決定した後、予算案1件、専決処分承認案5件、人事案件5件が上程され、質疑・討論・採決を行い、全ての議案が可決・承認・同意されました。



議長
中島孝行



副議長
衛藤正明

このたび議員各位のご推挙をいただき、宇佐市議会の第6代議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

本年は、地方創生元年と称され、人口減少社会という難局に際し、地方がどのような対策を講じ、持続可能な地域発展に取り組むのか大変注目されております。そのような中、宇佐市の取り組むべき課題も景気・雇用対策はもとより、行財政改革、まちづくり対策、環境対策、教育や福祉の充実など多岐にわたっております。

私ども宇佐市議会も、この度の改選で二十四名の新たな議員が決定いたしました。議員一同、二元代表制の一翼を担う議会の果たす責任や役割を再認識し、市政の重要課題はもとより、市民生活に身近な課題につきましても、議会において十分に議論を尽くし、市民の皆様の付託にお応えすべく、更なる努力をしてまいります。ご存でございます。

「うさ議会」だよりは、議会活性化特別委員会委員9名が、議会に関する情報を的確かつ親しみやすい紙面に編集してお伝えしてまいりますので、ご愛読の程よろしくお願ひ申し上げます。

市民の皆様の議会に対するご理解とご協力、ご鞭撻をお願ひ申し上げます。就任のあいさついたします。

一部事務組合議会の議員を選挙しました

《宇佐・高田・国東広域事務組合議会議員》

佐田 則昭
中島 孝行
浜 永義機
斉藤 文博
永松 郁
辛島 光司

《大分県後期高齢者医療広域連合議会議員》

中本 毅

各種委員の選任案に同意しました

《監査委員》

釜口 孝氏

(安心院町釜ノ口)

《教育委員会委員》

佐藤 修水氏

(院内町大門)

《公平委員会委員》

渡辺 幹雄氏

(四日市)

《公平委員会委員》

小野 寿明氏

(安心院町古市)

《固定資産評価員》

小野 文博氏

(安心院町釜ノ口)

各委員会の構成

新たな議会運営委員会委員、常任委員会委員、議会活性化特別委員会委員が決まりました。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の会期・議事日程など、議会の運営に関する事項をあらかじめ協議するとともに、議長の諮問事項に関する調査などを行う機関として設置されています。

◎ 大隈尚人 永松 郁
○ 斉藤文博 衛藤博幸
佐田則昭 釜口 孝
浜永義機 衛藤正明

常任委員会

議案等が多岐にわたるため、専門的かつ部門別に審査を分担し、詳細な審査を図る機関として常任委員会が設置されています。本市議会では「総務」「文教福祉」「産業建設」という3つの常任委員会で構成しています。

各常任委員会の委員構成は、次のとおりです。

◎は委員長、○は副委員長。(氏名の下の()は年齢(5/11現在)、写真下は会派名(小学校区)、写真は委員席順)

総務常任委員会



浜永義機
はまながよしき

愁山会(長洲) (65)



用松律夫
もちまつりつお

日本共産党(北馬城) (65)



和気伸哉
わきしんや

桜和会(北馬城) (44)



井本裕明
いもとひろあき

照政会(宇佐) (63)



中島孝行
なかしまたかゆき

愁山会(八幡) (68)



斉藤文博
さいとうふみひろ

市民連合(和間) (60)



辛島光司
からしまこうじ

照政会(和間) (43)



川谷光紹
かわたにこうしょう

愁山会(四日市南) (39)

文教福祉常任委員会



河野康臣
かわのやすおみ

市民連合(高家) (62)



釜口孝
うけぐち たかし

市民連合(深見) (66)



中本毅
なかもと たけし

知新会(四日市南) (32)



今石靖代
いまいしやすよ

日本共産党(糸口) (52)



衛藤博幸
えとうひろゆき

政友会(安心院) (64)



永松郁
ながまつ かおる

知新会(北馬城) (55)



衛藤正明
えとうまさあき

政友会(南院内) (64)



林寛
はやし ひろし

新流会(長峰) (64)

産業建設常任委員会



新開洋一
しんがいよういち

知新会(安心院) (66)



大隈尚人
おおくまなおと

市民連合(院内北部) (59)



後藤竜也
ごとうたつや

政友会(柳ヶ浦) (39)



衛藤義弘
えとうよしひろ

公明党(四日市北) (58)



高橋宜宏
たかはしよしひろ

至誠会(宇佐) (62)



多田羅純一
ただらじゅんいち

市民連合(糸口) (45)



佐田則昭
さだのりあき

政友会(佐田) (78)



中村明美
なかむらあけみ

明政会(駅館) (66)

平成27年3月第1回定例会議決結果一覧表

○議案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第1号	平成26年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)	各常任委員会	原案可決
議第2号	平成26年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	〃
議第3号	平成26年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	文教福祉	〃
議第4号	平成26年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	建設環境	〃
議第5号	平成26年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設環境	〃
議第6号	平成26年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	建設環境	〃
議第7号	平成26年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設環境	〃
議第8号	平成26年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	文教福祉	〃
議第9号	平成26年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	〃
議第10号	平成26年度宇佐市水道事業会計補正予算(第1号)	建設環境	〃
議第11号	平成27年度宇佐市一般会計予算	各常任委員会	〃
議第12号	平成27年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	文教福祉	〃
議第13号	平成27年度宇佐市介護保険特別会計予算	文教福祉	〃
議第14号	平成27年度宇佐市農業集落排水事業特別会計予算	建設環境	〃
議第15号	平成27年度宇佐市簡易水道事業特別会計予算	建設環境	〃
議第16号	平成27年度宇佐市公共下水道事業特別会計予算	建設環境	〃
議第17号	平成27年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	建設環境	〃
議第18号	平成27年度宇佐市介護サービス事業特別会計予算	文教福祉	〃
議第19号	平成27年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	文教福祉	〃
議第20号	平成27年度宇佐市水道事業会計予算	建設環境	〃
議第21号	宇佐市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	文教福祉	〃
議第22号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総 務	〃
議第23号	宇佐市教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について	総 務	〃
議第24号	宇佐市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の制定について	総 務	〃
議第25号	宇佐市組織条例の一部改正について	総 務	〃
議第26号	宇佐市行政手続条例の一部改正について	総 務	〃
議第27号	宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総 務 文教福祉 産業経済	〃
議第28号	宇佐市税条例の一部改正について	総 務	〃
議第29号	固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の一部改正について	総 務	〃
議第30号	宇佐市手数料条例の一部改正について	建設環境	〃
議第31号	宇佐市立保育所設置条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第32号	宇佐市国民健康保険税条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第33号	宇佐市介護保険条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第34号	宇佐市農業後継者育成に関する条例の一部改正について	産業経済	〃
議第35号	宇佐市道路占用料徴収条例の一部改正について	建設環境	〃
議第36号	宇佐市保育の実施に関する条例の廃止について	文教福祉	〃
議第37号	宇佐市自治基本条例審議会条例の廃止について	総 務	〃
議第38号	新市建設計画の変更について	総 務	〃
議第39号	不動産の処分について	総 務	〃
議第40号	訴え提起前の和解申立てについて	建設環境	〃
議第41号	指定管理者の指定について(宇佐市地域交流ステーション)	産業経済	〃
議第42号	豊後高田市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託について	総 務	〃
議第43号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正について	総 務	〃
議第44号	宇佐市職員の退職手当に対する条例の一部改正について	総 務	〃
議第45号	宇佐市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	総 務	〃
議第46号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	(省略)	原案同意
議第47号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	(省略)	〃
議第48号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	(省略)	〃
議第49号	工事請負契約の変更について	文教福祉	原案可決

○請願

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第1号	クリーンセンター(仮称)の建設に伴う一体的な施策による地域活性化に関する請願書	ごみ処理対策特別	採 択
請願第2号	北馬城のメガソーラー施設建設反対を求める請願書	産業経済	継続審査

○議員提出議案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議員提出議案 第1号	宇佐市議会委員会条例の一部改正について	省 略	原案可決

○全会一致でなかった議案の表決結果

議案番号	後藤竜也	河野睦夫	広崎譲二	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	木下一夫	加来栄一	新開洋一	林 寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	宮丸龍美	佐田則昭	釜口 孝	永松 郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	相良公治	久保繁樹	徳田 哲
議第11号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第43号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

賛成=○ 反対=× 退席=△

平成27年5月第2回臨時会議決結果一覧表

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第50号	平成27年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
議第51号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号))	文教福祉	原案承認
議第52号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市税条例等の一部改正)	総 務	〃
議第53号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市都市計画税条例の一部改正)	総 務	〃
議第54号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市税特別措置条例の一部改正)	総 務	〃
議第55号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市国民健康保険税条例の一部改正)	文教福祉	〃
議第56号	宇佐市教育委員会委員の任命について	(省略)	原案同意
議第57号	宇佐市公平委員会委員の選任について	(省略)	〃
議第58号	宇佐市公平委員会委員の選任について	(省略)	〃
議第59号	宇佐市固定資産評価員の選任について	(省略)	〃
議第60号	宇佐市監査委員の選任について	(省略)	〃

○全会一致でなかった議案の表決結果

議案番号	中本 毅	川谷 光紹	和 氣 伸哉	多田羅純一	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林 寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	佐田則昭	高橋宜宏	中村明美	釜口 孝	永松 郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	中島孝行	
議第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長

賛成=○ 反対=× 退席=△

周辺対策について



衛藤正明（両院クラブ）

問① 日出生台演習場対策会議について。
答 ① 対策会議の数と協議内容は、整備期成会② 大分県基地周辺施設対策協議会③ 日出生台演習場問題協議会の3つがある。
 ①は、駐留米軍並びに国連軍及び自衛隊が使用して生じた被害と防音対策について、関係機関に要望をしていく。
 ②は、自衛隊が県内に存する演習場及び基地を使用して生じた被害について、障害防止事業及び民生安定施設事業と国の予算獲得を目的としている。
 ③は、住民の不安解消・安全確保を目的とし、宇佐市は四者協に準じた扱いとなっている。
(2) 米軍演習に関わる情報収集と周知の対策は。
答 防災行政無線を通して演習

情報の周知を行い、危機管理課と消防本部で把握し、24時間に対応できる体制としている。
問② 岳切トンネル手前の側面は巨石が崩落する状態にあるが対策は。
答 平成25年から調査・設計を行っている。市としても地域住民の生活や岳切溪谷の観光への主要道路であり、早期防災対策を県に要望していく。

問③ オオサンショウウオの保護管理の範囲と指定の最終年度は。
答 指定地内で計画される開発行為と文化財保護の調整を円滑に進めるため、今年度「オオサンショウウオ保存管理計画策定委員会」を組織し、平成27年度末まで策定する。

問④ 「道の駅いんない」の駐車場南側から荒瀬橋展望所の歩道に通じる国道387号線の間には横断歩道が必要でないか。
答 現在設置されている道の駅北側歩道を利用していただけるように案内板を設置したい。

情報

学校図書費などは公費負担に



用松律夫（日本共産党）

問① 北馬城のメガソーラー問題について。
答 ① 業者の開発の規模、用地選定の理由など許可申請の内容は、審査中であり答弁を控える。
(2) 県と随時協議を行っているというが、どのような内容か。
答 災害に対する危惧など県へ伝えている。
(3) 市長は住民の反対や不安の声をどう受け止めているか。
答 以前の土砂災害で家族の方を亡くされた方の声を直接お聞きし、認識している。県に4つの要件の精査を意見したい。
(4) たびたび違法を繰り返してきた業者は県の許可基準に該当しないのではないか。
答 開発行為の場合は別。
(5) 県の許可基準では、一時的な開発行為で土地を利用する場合、利用後の現状回復が適切に

行われることが明らかになこととあるが、本計画ではどうか。
答 県と協議する。

問② 農業問題について。

(1) 市独自の米価下落対策は。

答 大豆に対する補助金を2千円加算する。

(2) JA全中の解体や全農の株式会社化や信用事業の分離などは、TPP運動の抑え込みやアメリカの資本への市場の明け渡しとなり、反対すべきだが。
答 今後の動向を注視する。

問③ 元アイコーの従業員のアスベスト被害の救済策を。
答 管理手帳を交付されている方々などから相談があれば市が窓口になる。

問④ 小中学校の図書費や灯油代などの保護者負担の解消は。
答 私的なもの以外は公費とする。

問⑤ 緊急通報システムの無料化に伴うサービス拡充は。
答 新年度から非課税世帯は無料化する。

問⑥ パナソニックの従業員や下請け業者の雇用や生活を守るよう働きかけを。
答 改めて会社へ申し入れ、定期協議の場を持っている。

期協議の場を持っている。

農業・漁業支援について問う



後藤 竜也 (忠政会)

問① 小松橋の老朽化に関して、耐用年数、安全性を考えると架け替えは急務と思うが、どのように考えているのか。また、計画段階にある黒川・松崎線の今後の取り組み予定は。

答 昭和14年に供用開始され、75年が経過しているが、定期的に点検を行っている。平成27年度から29年度にかけて橋りょう補修工事を行う予定であり、当分の間、問題なく使用できる。重要路線であることから、今後適切な管理を要望していく。黒川・松崎線においても早期実現に向け努力する。

問② 平和ミュージアム構想に関して、構想委員会から答申が出たが、建設地は提言どおりに決定するのか。また、建設予定地の評価に大いに疑問があるが、市はどのように考えているのか。

答 平成26年12月に構想委員会より提言があり、この提言を受けて、全般的に内容を精査した上で城井地区を最適地として平成27年2月に庁議決定した。

しかしながら、2月27日に柳ヶ浦自治会、老人会より異論があり、要望書が出たことから住民の皆様からの意見を聴く機会を設けるようにした。市民の皆様への理解、協力が得られるように努力していく。

問③ 一次産業支援と農水産品のブランド化について。

宇佐の大切な農業、漁業を守るため、より積極的な支援が必要なのではないか。特に漁業においては、10年後、20年後を見据えた対策をしなければ衰退してしまう。

答 現在、漁協や県など関係機関と協議を行いながら、藻場造成や海底清掃、種苗放流など対策を行っている。今後も調査研究を行い、漁業振興に向けて連携を図っていく。

院内柚子栽培の拡大について



大隈 尚人 (市民クラブ)

問① 国道387号線院内白岩から香下間には迂回路がなく、交通事故の際には、緊急車両の通行も困難である。また、自然災害による通行遮断も考えられる。この対策は。

答 現時点での早期の拡幅や迂回路などのバイパス工事は困難であるが、落石等の恐れがあるため順次防災対策を行っていく。

問② 院内地域特産品の柚子の栽培・生産の拡大について、何らかの対策を講じるべきではないか。

答 柚子は、本市を代表する主力品目である。耕作放棄地の再生・利用等の生産基盤整備を進めていく。また、果樹や果皮を利用した加工品も支援をする。

問③ 河川の汚れがひどくなると聞く。一層の合併浄化槽の推進が必要である。設置の際に

県や市で全額負担すべきだと思いが、市の考えは。

答 河川の水質汚染の主な原因として未処理の生活排水がある。合併浄化槽の推進は必要であるが、全額補助は難しい。

問④ 合併後、市周辺部では、少子高齢化に拍車がかかり、過疎化が進んだという声を聞く。過疎化対策について市の考えは。

答 第二次総合計画では、地域コミュニティ組織の成立と活動支援・地域おこし協力隊の動員による支援強化、地域交流ステーションの拡充、周辺地域応援事業等に取り組んでいく。

問⑤ 介護保険要支援1、2や特養要介護1、2の人たちが介護保険から外れるという国の方針が出された。この方々の受け皿は各市町村に委ねられるが、市としてどのような対策を考えているのか。

答 現行の訪問介護や通所介護相当のサービス、人員等を緩和した基準によるサービス等を示す指数を元に検討していく。また、特別養護老人ホームについては、「特例入所」などが可能である。

管理職をどう育てるか



斉藤 文博 (市民クラブ)

問① 市長の部課長育成の基本的な考えは。また、職員との人間関係をどう築いていくのか。
答 宇佐市のまちづくりの目標や基本的な心構えを示すとともに、有益な意見等については、積極的に取り入れる。部課長育成については管理監督者としての認識を促し、政策課題に取り組み意識付けを行っている。職員とは、コミュニケーションを大切にし、互いの信頼関係を構築しながら職務に臨んでいる。
問② 和間海浜公園について。
答 トイレ改築の完成は、6月中旬に完成予定。
問③ 施設整備計画は、27年度から道路改良工事に着手予定。駐車場等、公園全体の整備が必要と考えている。
問④ 管理運営で現場の意見は反映されているか。

答 アサリ資源の確保や漁業権との調整、公園管理の在り方について、県漁協宇佐支店と協議が必要と考えている。

問③ 火災報知器設置推進について、普及率と今後の具体策は。
答 平成26年で80・6%で設置率は向上している。設置していることにより大事に至らなかつた事例が報告されており、設置は重要と考えている。全国火災予防運動期間中に市内各地域のスーパー等12店舗の協力を得て、レシートに住宅用火災警報器の設置について広報文を掲載していただいた。今後も市民の生命、身体及び財産保護のため、設置率向上に取り組む。

問④ 空き家対策で家屋解体についての相談窓口を設けては。
答 市内の建築物その他の工作物で、常時無人の状態にあるものを「空き家等」と位置付けている。危機管理課をはじめ各課で相談を受け付けている。老朽危険家屋の除去への補助金については、建築住宅課が窓口となり「宇佐市老朽危険家屋等除去促進事業補助金交付要綱」で要件を満たした老朽危険家屋について、解体費用の一部補助を実施している。

『宇佐市再生』 5つの約束



辛島 光司 (照政会)

問① 少子化対策について。
答 産みたくても産めない一番の理由は「経済的負担が重い」、二番目の理由は「働きながら育てやすい環境が整ってない」とのアンケート結果。
問② 市の認識と今後の取り組みを伺う。
答 子育てアンケートを分析して、大きな課題として認識している。現実的に可能なことから、市の施策として取り組んでいく。
問③ スポーツ振興について。
答 宇佐市出身のサッカー日本代表選手が3人もいる。ジュニアの大会が問題なく開催できるように、人工芝サッカーグラウンドの整備を早期に実現するべきだが、現在の状況は。
問④ スポーツ推進計画を策定するにあたり、関係者からのヒアリングを通して、とりまとめて

いる状況。

問③ 教育環境について。
 PTA連合会からの要望にも上がっていた「教室のエアコン設置」と「プール改修」は、必至の課題だと思うが、今後の取り組みは。
答 今後、学校施設整備計画の中で各学校や保護者の意見を聞き、取りまとめていく。

問④ 人の元気アップについて。
 グランドゴルフやカラオケ、多くの高齢者が楽しみ、健康に寄与するサークル活動などの支援が必要では。
答 大会に対する支援や、施設利用料等の支援を引き続き実施する。

問⑤ 街の元気アップについて。
 宇佐市の玄関口・柳ヶ浦駅の周辺の整備と都市計画道路「松崎黒川線」は、関連性が強い。現在の状況は。
答 様々な重要なことを同時に進めなければならない。皆さんの理解を得ながら、推進していきたい。

通学路の早期整備を



河野睦夫（両院クラブ）

問① 通学路の整備について

(1) 通学路の整備に関する要望と対策状況は。

答 平成24年度から現在まで94箇所、要望が出ており、市の対応する箇所は54箇所である。そのうち対策済が13箇所、対策中が19箇所、未実施が22箇所ある。簡易なものは1〜2年、改良や舗装等は5年を目標に順次対策する。

(2) 優先順位等はあるのか。

答 緊急度や事業規模を考慮するが、基本的には要望順である。

問② 学校図書館司書について

(1) 学校司書の役割は。

答 校内読書活動の拠点、学習支援のための「学習・情報センター」として、異なる年齢の子どもたちが関わりを持てるよう「心の居場所」としての役割を担っている。

(2) 学校司書「図書館コーディネーター」の増員は。

答 現在、学校司書を7名配置し、授業や読書活動、研究活動のニーズにも対応できるように活用事業を行っている。

平成27年度は、更に学校司書を3名増員し、10名体制で一層の充実を図っていく。

問② ふるさと応援寄付金について。

(1) 寄付金の実績と特典は。

答 平成26年度実績は2月時点で748件、寄付額は1,485万9千円であり、昨年度の59件、679万円を大幅に上回っている。

寄付者に対する特典は、3千円相当の宇佐ブランド認証品を23セット用意している。1万円以上の寄付者には宇佐神宮への記念植樹と2年目以降はブランド品2セットとなっている。

(2) 今後の対策は。

答 更に魅力ある特産品を選定するとともに、カード決済やコンビニからの送付システムを導入するなど、寄付者の利便性を向上させる。

コミュニティバスの拡充を



今石靖代（日本共産党）

問① 公共交通について。

(1) 観光周遊バスが走るが、市民の利便性はどうか。

答 7月から9月まで、JR利用者との2次交通の不便さを解消するために運行。市民の利用も可能だが、恒常的なものではない。

(2) 買い物、通院、役所への交通手段は、安心して暮らしていくためには必要。拡充計画は。

答 地域からの要望を受け、昨年新たに3路線の運行を行うなど、拡充・利便性の向上に継続的に取り組んでいる。

(3) 安心院、院内から本庁へとつなぐよう検討すべきであるが。

答 合併以来、旧町内それぞれで完結する運行が基本となっており、今後は市内公共交通網の再編の中で取り組んでいきたい。

問② 長洲公民館建替について

答 築44年と老朽化し、自治委員全員の署名の請願も議会でも全会一致で採択されている。早急な建て替えが必要であるが。

答 生涯学習の拠点として、また災害避難所として重要な役割を担っている。公民館整備計画検討委員会で最優先課題として検討している。今後、地域からの意見が反映できる懇話会等を組織し、早期に具体的な計画策定ができるよう努めていく。

(2) 若い世代も利用しやすい施設にするべきではないか。

答 今後は、青年層や子育て世代など幅広く利用されるような施設の講座の検討を進めていく。

問③ 介護保険について。

(1) 国は、介護報酬を2・27%引き下げることを決めたが、事業所や市民への影響は。

答 事業所は減収となるが、市民は利用料が安くなり、介護保険料の負担も軽くなる。

(2) ヘルパー不足が今でも深刻な中、利用者へのサービスも低下するのではないか。国へ反対の意見を上げるべきであるが。

答 推移を見守っていききたい。

(3) 要支援1、2を地域支援事業に変えるが、サービスを低下させることはないか。

答 低下につながるものではない。

少子、過疎対策は急務！！



衛藤博幸（両院クラブ）

問① 定住支援・子育て支援は急務である。定住支援策の新たな取り組みはあるのか。

答 新たな事業として、家財道具撤去に助成する「空き家利活用促進事業」・仲介手数料の助成「空き家バンク成約促進事業」・地域コミュニティ組織に奨励金交付「Uイターン者受け入れ地域支援事業」と併せ、県事業「県外Uイターン者移住支援事業」を実施する。

問② 子育て世帯の定住住宅は年2〜3棟のペースでは間に合わない。今後の取り組みは。

答 南院内に若者定住促進住宅を建設中であるが、現在まで正式申込みがない状況。深見住宅においては、3月中に一世帯より転出の届出が出されている。27年度予定の津房地区の着工を一旦見合わせ、検討している。



市外からの入居が期待される南院内の若者定住促進住宅

問③ 空き家対策について、転入の場合、家を探すだけでなく、学校やお年寄りの施設、また、改造等に伴う業者の紹介等、必然的要件がある。窓口の一元化が必要と思うが。

答 27年度からは市の直接雇用の定住支援員を配置し、空き家の掘り起しや空き家案内・移住前後のサポートを行い、空き家案内窓口の一元化を図っていく。

問④ 安心院工業団地の排水について、食品加工等の工場誘致の場合、水を大量に使用する。公共下水の接続がなければ誘致が難しいのでは。

地方創生の地方戦略について



衛藤義弘（公明党）

問① カーブミラーの総点検と予算化を。

答 地区ごと、エリアごとに決めていく方向で考えていく。

問② 市内の高木の危険箇所の伐採を。

答 届出を受けた場合は速やかに現地確認し、管理不全と認められた場合は所有者に指導する。

問③ 市内に救急指定病院が少なく、救急患者に時間がかかるのでは。

答 宇佐市地域医療推進会議の中で、市医師会・医師会病院と課題の解決を図っていく。

問④ 地方創生について。

答 国の相談窓口の地方創生コンシェルズ制度を活用していく。

問⑤ 地方移住の推進の現状と今後についてはどうか。

答 都市圏開催の移住相談会参加やホームページ、専門誌を活用。今後については、空き家物件への移住促進、集落定住支援員の配置、空き家改修補助金の拡充、Uイターンの促進のための各種補助金の創設を行う。

(3) 結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後は。

答 結婚は、婚活サポーター制度の創設とイベントの助成。出産・子育ては、宇佐市子ども・子育て支援事業計画で、地域における子育て支援、ワーク・ライフ・バランスの推進など6つの基本的な目標の達成のために保護者の子育て不安や負担の軽減を図る。教育は、小学校に複式授業改善臨時講師、多人数学級支援員を、中学校に習熟度別指導教員を市費単独で配置し、一人ひとりにきめ細かい指導を行っている。今後も、教室の空調設備の整備を行う。

(4) 観光では、宿泊の少ない現状を再生計画にどう生かすか。

答 宿泊割引券発行による宿泊客増加や観光周遊バスの運行。

問⑤ 安心院・院内の公園遊具計画は。

答 家族旅行村リニューアル構想の中で公園遊具の拡充を図る。

常任委員会の構成を見直し、委員会条例を改正！

今期から「総務、文教福祉、産業建設」の3つの常任委員会構成に。

宇佐市議会においては、合併後、平成17年4月から「総務、文教福祉、産業経済、建設環境」の4つの常任委員会構成してまいりました。

しかし、今期から議員定数が26人から24人になることに伴い、このまま推移すると、本会議で議決前の内部審査を行う常任委員会が、それぞれの委員定数は6人以下となっていくことが想定されました。

そこで、議会運営委員会を核として、全国・県下他市を調査しながら議論を尽くした結果、「より広く調査研究を尽くし、多角的な見地から議論を深めることにより、議事審査の充実と効率向上を図ること」とを考慮して、今期から常任委員会は「**総務、文教福祉、産業建設**」の3つの構成で、委員定数はそれぞれ「8人」、所管についても一部移管などにより常任委員会における所管部署整理を行うなどの条例改正を3月定例会で議決いたしました。

QRコードから議会のホームページをご覧ください。

今月号から表紙にQRコードを付けるようにしました。インターネットが利用できるカメラ付き携帯電話で読み込むことによって、すぐに宇佐市議会のホームページを開くことができます。

ホームページでは、市民の皆様は宇佐市議会の活動をご理解いただけるよう議会の予定や一般質問の内容、市議会のしくみ等が掲載されていますので、是非、ご活用ください。

本会議の映像をインターネットで配信中心！

宇佐市議会では、現在本会議の様子がインターネット中継されています。普段、議事堂へ傍聴に来られる時間がない方は、インターネットで宇佐市議会のホームページから、本会議の生中継（ユーストリーム）、録画（YouTube）をいつでも見ることが出来ます。

議員と執行部が宇佐市発展のために議論する模様を是非ご覧ください。

議会活性化特別委員会メンバー紹介

今号から新しいメンバーで「議会だより」を編集します。

議会だよりは、市民の皆様にもっとと議会に興味を持ってもらうため、議員の立場から議会報告を行う重要な役割を持っています。わかりやすい内容を心掛けて、年4回開催される定例会ごとに発行していきます。構成メンバーは、各常任委員会から選出された次の9名です。

- ◎ 中本 毅
- 川谷光紹
- 辛島光司
- 後藤竜也
- 今石靖代
- 河野康臣
- 和気伸哉
- 多田羅純一
- 衛藤義弘
- （◎は委員長、○は副委員長）



編集後記



皆様には日頃より大変お世話になり、誠に有難うございます。統一地方選が終わり、宇佐市議会も新たな4年間がスタートしました。

本年度は宇佐市版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。合併10周年を迎え、あらためて市民の皆様のお暮らしを最優先に捉え、また新たな10年のまちづくりを進めてまいります。

この広報誌は、住民の皆様は議会活動をわかりやすくご説明・ご報告できるように、9名の議会活性化委員を含め議員一同、さらに努めてまいります。発行日の改善やウェブとの連携など、具体的に新たな取り組みも検討中です。

また、宇佐市議会ページでは、インターネット動画サイト「YouTube」など、ご自宅ですべてでも議会の模様をご覧いただける仕組みがすでにできております。

住民の皆様は信頼される、より開かれた議会を目指して、活動を続けてまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

議会活性化特別委員会
委員長 中本 毅